

函館市医療・介護連携推進協議会  
多職種連携研修作業部会 第13回会議

日時：令和3年3月5日（金）19：00～

場所：函館市医師会病院 5階講堂

【次第】

1 開 会

2 議 事

○報告事項（資料1）

- 1, 令和2年度 多職種連携研修計画 実施報告（資料2）
- 2, センターホームページ「コラム」の掲載について
- 3, 研修情報の一元化と提供について（資料3）

○協議事項（資料4）

- 1, 令和3年度 多職種連携研修計画（案）（資料5・6・7）

3 その他

4 閉 会

【配付資料】

- 1 報告事項
- 2 令和2年度 多職種連携研修計画実績表
- 3 ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和2年4月～令和3年2月）
- 4 協議事項
- 5 令和3年度 函館市医療・介護連携多職種研修計画（案）
- 6 令和3年度動画研修（分析まとめ）
- 7 令和3年度研修（要望まとめ）

## ○報告事項

## 1. 令和2年度 多職種連携研修計画 実施報告（資料2）

## （1）相互理解の促進

## ①医療関係者向け研修会（動画公開）

- ・テ ー マ：「訪問看護師の機能と役割」

講 師：社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院

在宅療養支援室 訪問看護 看護師主任 白川 直子 様

公開期間：令和2年9月11日～9月30日

閲覧人数：236名（申告人数）

アンケート結果：98件

## ②介護関係者向け研修会（動画公開）

- ・テ ー マ：「高齢者の身体的特徴（フレイル）と

主治医に伝わりやすい報告の仕方」

講 師：恩村内科医院 院長 恩村 宏樹 様

公開期間：令和2年8月11日～8月31日

閲覧人数：1,189名（申告人数）

アンケート結果：192件

- ・テ ー マ：正しい病院のかかり方（医療介護連携編）

講 師：社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院

法人内・法人外連携推進担当課長 船山 俊介 様

公 開：令和3年2月1日～2月28日

## ③オープンカンファレンス

新型コロナウイルスの影響で未開催

## ④意見交換会

- ・各関係団体窓口一覧の作成，24団体長宛てに5月配信済
- ・ホームページ上の「各関係団体の皆さまへ」に掲載済
- ・各関係団体窓口一覧の作成に関する規定について，一部挿入文追加

## ⑤第6回函館市医療・介護連携多職種研修会

新型コロナウイルスの影響で，予定していた内容を映画上映・ミニ講演へ変更をしたが感染拡大傾向がみられ中止となる。下記の研修動画公開に変更

- ・テ ー マ：「見てわかる感染対策～環境整備について～」

講 師：函館市医師会病院 感染管理認定看護師 亀山 敏様

対象者：介護関係者（医療関係者も閲覧可能）

撮影：令和2年12月28日・令和3年1月7日

公開：令和3年3月頃予定

- ・テーマ：「介護サービスの概要と役割（医療と介護の連携）」
- 講師：医療法人社団函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所  
管理者・主任介護支援専門員 宮城 智美 様

対象者：医療関係者（介護関係者も閲覧可能）

撮影：令和2年12月18日

公開：令和3年3月頃予定

## （2）連携強化

### ①看取り

- ・施設看取りへの支援

各関係者団体との共催にて、施設看取りの事例報告会開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で未開催

- ・在宅看取りへの支援

看取りアンケートの集計結果をもとに、事業所訪問・在宅看取りの事例を選定、事例報告会を検討していたが、新型コロナウイルスの影響で未開催

### ②入退院支援

- ・『はこだて入退院支援連携ガイド』を活用した研修会（退院支援分科会主催）  
新型コロナウイルスの影響で未開催
- ・『入退院支援連携強化研修会』（情報共有ツール作業部会主催）  
新型コロナウイルスの影響で未開催

### ③急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催）

『急変時対応研修会』

令和2年3月12日開催予定（令和元年度研修計画）だったが、新型コロナウイルスの影響で開催できず、状況をみて開催検討をしていたが感染拡大の為、未開催

## （3）多職種連携の専門性の向上

### ①函館市における多職種連携への理解の促進（出張講座の実施）

令和2年9月15日 要約筆記登録員研修会 模擬現場

障害者生活支援センターぱすてる 講義（40分）

(4) 人材育成

- ①センター主催研修会への見学参加（出前講座の実施含む）  
動画研修の案内配布

2. センターホームページ「コラム」の掲載について

- (1) 令和元年度 第5回函館市医療・介護連携多職種研修会 座長，講師のコラム  
「医師・施設相談員・在宅ヘルパー・病院看護師  
～それぞれの立場からの看取り～」掲載

- (2) 令和2年7月～「認定看護師の役割と活動」（2か月毎に掲載）

- ①感染管理認定看護師 7月6日掲載  
②緩和ケア認定看護師 9月10日掲載  
③乳がん看護認定看護師 11月4日掲載  
④がん性疼痛看護認定看護師 令和3年1月4日掲載  
⑤がん化学療法看護認定看護師 令和3年3月掲載予定

3. 研修情報一元化と提供について（資料3）

- (1) 令和2年4月～令和3年2月掲載分  
他団体主催・共催12件（2件中止）  
センター主催・共催4件（1件中止） 合計 16件

- (2) 研修情報一元化と提供に関する規定について，一部挿入文追加

## 【令和2年度 多職種連携研修計画 実績表】

目的（テーマ）	内容	形式				定員	時期
		規模（会場）	形態	対象者	レベル		
(1) 相互理解の促進	① 医療関係者向け研修 『訪問看護師の機能と役割』 講師：社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 在宅療養支援室 訪問看護 看護師主任 白川 直子 様		動画にて講義	医療関係者	初級～中級		9月11日～9月30日 まで公開 (終了)
	② 介護関係者向け研修 『高齢者の身体的特徴（フレイル）と 主治医に伝わりやすい報告の仕方』 講師：医療法人社団恩村内科医院 院長 恩村 宏樹 先生		動画にて講義	介護関係者	初級～中級		8月11日～8月31日 まで公開 (終了)
	『正しい病院のかかり方（医療介護連携編）』 講師：社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 法人内・法人外連携推進担当課長 船山 俊介 様		動画にて講義	介護関係者	初級～中級		令和3年2月1日～ 2月28日まで公開
	③ オープンカンファレンス	中規模	対話体験（事例報告）	医療・介護関係者	初級～上級	100名程度	随時（未定）
	④ 意見交換会 各関係団体窓口一覧の作成，24団体長宛てに配信 各関係団体窓口一覧の作成に関する規定について						5月に配信済 5月に掲載済
⑤ 第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会 相互理解～在宅医療と介護，地域との繋がりについて～ 【中止代替案】 ・医療関係者向け（介護関係者も閲覧可能） 『介護サービスの概要と役割（医療と介護の連携）』 講師：医療法人社団函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 宮城 智美 様 ・介護関係者向け（医療関係者も閲覧可能） 『見てわかる感染対策～環境整備～』 講師：函館市医師会病院 感染管理認定看護師 亀山 敏 様	大規模（中規模） （国際ホテル）	映画上映（99分） 講演会（30分）	医療・介護関係者	初級～中級	150名程度	コロナの影響にて 中止	
		動画にて講義	医療・介護関係者	初級～中級		令和3年2～3月 公開予定	
(2) 連携強化	① 看取り 施設看取りへの支援 『施設等での看取りケアの事例報告』*各団体との共催 在宅看取りへの支援 『アンケート結果の報告・在宅看取りの事例報告』						未開催
	② 入退院支援 「はこだて入退院支援連携ガイド」活用促進 「はこだて医療・介護連携サマリー」活用促進 ※各団体・機関との共催、退院支援分科会・情報共有ツール作業部会との協働						未開催
	③ 急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催） 『急変時対応研修会』	中規模 （テレシアター）	パネルディスカッション	医療・介護関係者	中級～上級	100名程度	未開催
	(3) 多職種連携の 専門性の向上	① 函館市における多職種連携への理解の促進 ※各団体・各機関との共催	小規模	座学講義 講師：センター職員	医療・介護関係者	初級～中級	30名程度
(4) 人材育成	① センター主催研修会への見学参加 ※各医療・介護系の学校への案内	随時	動画にて講義	医療・介護学生 （教員）	未経験者	数名	随時

## ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和2年4月～令和3年2月）

月	研修名称（団体名）	件数
4月		0件
5月		0件
6月	第160回 国立函館病院合同教育講座 『都心の病院（慶應病院）におけるコロナ感染症への対応』 （国立病院機構函館病院）	1件
7月	函館ジェネラリスト・カレッジ vol.18 『コロナ禍で今後私たちの歩んでいく道は』 （函館ジェネラリスト・カレッジ・北海道ホームケア）	1件
8月	第161回 国立函館病院合同教育講座 『ヘリコバクターピロリ除菌時代の胃癌スクリーニング』 （国立病院機構函館病院）	1件
9月	第162回 国立函館病院合同教育講座 『最新ガイドラインに基づいた心不全診療のポイント』 （国立病院機構函館病院）	2件
	第80回 五稜郭セミナー on Web 『地域における在宅医療の役割』 『アブレーション治療と周術期抗凝固療法』 （函館五稜郭病院）	
10月	第165回 国立函館病院合同教育講座 『心筋症診療の最前線』 （国立病院機構函館病院）	5件
	第165回 国立函館病院合同教育講座 『今日のウイルス肝炎診療：with Corona 対応を含めて』 （国立病院機構函館病院）	
	第39回 函館五稜郭病院カンサーボード 『放射線皮膚炎～皮膚ケアマップ～』 『免疫療法を受ける患者の看護』 『症例報告（仮）』 （函館五稜郭病院）	
	第166回 国立函館病院合同教育講座 『自己免疫性胃炎の組織学的特徴とHp胃炎との違い』 （国立病院機構函館病院）	
	道南地域連携Web講演会 「道南地域連携Web講演会 心不全・糖尿病の地域連携・チーム医療を考える」 （函館五稜郭病院）	
11月	保健師職能集会 ＊開催中止 「多職種から学ぶ！ ～コロナ禍における保健師に求められる支援～」 （北海道渡島保健所 健康推進課 健康支援係）	2件 （いずれも中止）
	第167回 国立函館病院合同教育講座 ＊開催中止 「大規模共同国際臨床試験の読み方～日本人COPD患者における最適薬物治療とは？」 （国立病院機構函館病院）	
12月		0件
1月		0件
2月		0件
合 計		12件 （開催中止2件）

（その他）函館市医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会

4件  
（開催中止1件）

## ○協議事項

## 1, 令和3年度 多職種連携研修計画（案）（資料5・6・7）

## （1）医療・介護関係者向け研修について

- ① テーマ
- ② 対象者：医療・介護関係者向け研修として開催するが，全職種へ案内配布する
- ③ 研修形態：動画研修（医療・介護関係者各1回施行）

## （2）大規模研修会について

- ① テーマ
- ② 研修形態
- ③ 中止時の代替え案

## 令和 3 年度 多職種連携研修計画（案）

## （1）相互理解の促進

## ①医療関係者向け研修

形態：動画研修

日時：令和 3 年 4 月講師依頼，5 月原稿作成，6 月撮影・動画作成  
7 月案内・公開

対象者：医療関係者 \*介護関係者にも案内配布する

テーマ

（案 1）薬剤師（無菌調剤室の有無など，訪問時にどのような事を行っているのか）

（案 2）介護サービスについて：定期巡回，小規模多機能，看護小規模多機能，  
訪問介護，地域密着型

（\*前回候補：介護施設について，種別と受け入れ条件，医療従事者の有無等）

講師：未定

## ②介護関係者向け研修

形態：動画研修

日時：令和 3 年 5 月講師依頼，6 月原稿作成，7 月撮影・動画作成  
8 月案内・公開

対象者：介護関係者 \*医療関係者にも案内配布する

テーマ

（案 1）医療に関する情報：症状から何が考えられるか，

どこを観察して，伝えてほしいか

（発熱・心不全・むくみ・肺炎など）

（案 2）かかりつけ医の役割（事例をまじえてもらう）

（\*前回候補：函館市の医療と介護の現状と今後の課題 事例等）

講師：未定

## ③オープンカンファレンス

新型コロナウイルスの感染状況をみて，検討

## ④意見交換会

各関係者団体へ連絡・確認：6 月に確認書類 配布

\*医療・介護各関係団体窓口一覧の内容変更の有無  
一覧の活用の有無

団体の追加推薦の有無

研修情報提供の協力依頼

## （2）連携強化

## ①看取り

・大規模研修会

日時：令和 3 年 10 月 16 日（土）14 時～17 時

場所：国際ホテル

テーマ（令和 2 年度協議した内容を令和 3 年度開催予定）



在宅・施設・病院それぞれの多職種によるACPの在り方

\*内容→多職種とどのように連携しているかの取り組み報告

看取り場面だけでなく、揺れる気持ちや状態変化に応じて、多職種が連携することで、うまくいった事例や困難を乗り越えた事例など

講師：未定

形態：シンポジウム・グループワーク

代替案：テーマを動画に変更、グループワーク中止

・施設看取りへの支援

各関係者団体との共催にて、開催を予定

施設訪問にて好取り組み施設を選定、事例報告形式にて開催

\*新型コロナウイルスの状況及び他の研修開催状況を見ながら検討

・在宅看取りへの支援

令和元年 10～11月 在宅看取りアンケート実施

令和2年 10月 在宅看取りアンケート分析

事業所訪問にて好取り組み施設を選定、事例報告形式にて開催

\*新型コロナウイルスの状況及び他の研修開催状況を見ながら検討

②入退院支援

『はこだて入退院支援連携ガイド』活用促進研修会（退院支援分科会主催）

『入退院支援連携強化研修会』（情報共有ツール作業部会主催）

\*新型コロナウイルスの感染状況をもて、各部会・分科会にて検討

③急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催）

『急変時対応研修会』パネルディスカッション 300名程度

\*6～7月頃 開催を検討

（3）多職種連携の専門性の向上

①函館市における多職種連携への理解の促進

・出張講座メニューの追加・更新及び各関係団体へ周知・案内の継続

（4）人材育成

①センター主催研修会への見学参加

・市内の医療系・福祉系の教育機関に研修案内・出前講座を継続する

・出前講座メニューの追加・更新及び各教育機関への周知・案内の継続

## 令和2年度 動画研修（分析まとめ）

R2年度新型コロナ対策の為、動画研修を行った。動画後アンケートから、動画研修についての分析を行った。アンケートに寄せられた意見の内容をまとめると下記のようなになった。動画をみるのがうまくいかず見る事ができなかったとの意見はなかった。会場での研修参加もよいが、動画研修では時間調整のしやすさや時間の短縮などのメリットがあり有効と考えられる。

### ①視覚的にみる事の利点

- ・見る・聞くだけでなく、実践もできるような動画もあれば良いと思いました。
- ・目でみて直接言葉のやり取りが聞けたのがよかった。

### ②時間調整のしやすさ

- ・事業所内で同時に視聴できすぐにディスカッションが行えるので理解がさらに深まりとても有効だと思いました。
- ・時間調整がし易く、とても良いと感じました。
- ・小規模な集まりでも動画配信で情報を共有できるのでよかったです。
- ・この形式であれば、普段参加しづらい変則勤務の職員も参加できる。
- ・自分の都合に合わせた時間帯で研修できるので、会場に出向く方法よりは参加しやすい環境であると思います。
- ・今までの様に、業務終了後に会場に向かうとなると、保育園や学童などに子供を預けている職員に対して、参加を要請するのが難しかった。今回のような動画であれば期間中に全ての職員が参加できる。
- ・研修会場への移動時間短縮や、仕事の合間に効率よく研修する事ができた。

### ③研修時間の短縮

- ・自宅で、短時間で閲覧できるのが大変良い

### ④繰り返し見る事が可能

- ・繰り返す事で理解が深まり、前回とは異なる視点からも認識する事ができる。
- ・動画だと聞き逃しなどもなく、何度も繰り返して視聴する事で、内容を理解しやすくなる点は良いと思います。

## 医療関係者向け動画研修 分析

今までの研修とR2年度の動画研修での参加数の分析を行った。H29年度研修参加総数78名、H30年度200名、H31年度（R元年度）205名、R2年度177名となっている。

	H29	H30	H31(R1)	R2
参加数	78名	200名	205名	177名

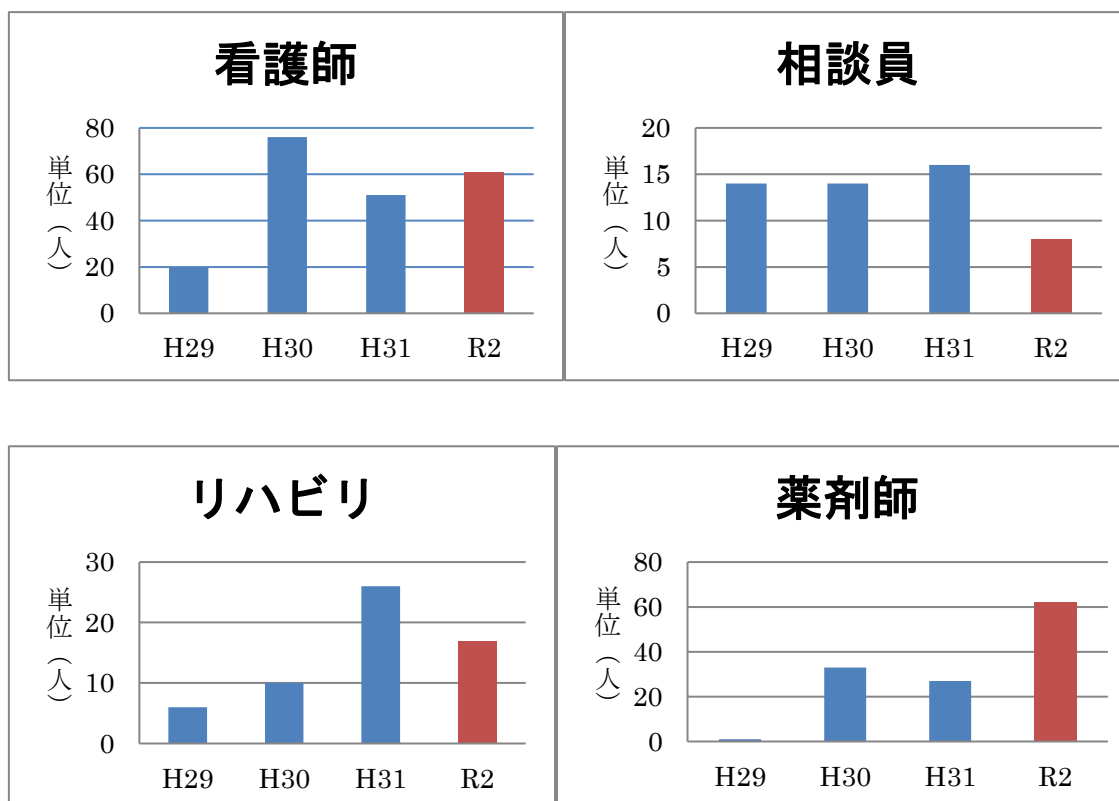
参加人数は、会場での研修と動画研修での大きな差はなかった。介護関係者のような動画にした事による参加人数の増加とはなっていない。薬剤師の参加人数の増加はあり、通常の研修では開始時間には仕事が終わっておらず参加できなかったが、動画は時間の縛りが無い為参加が可能になった事と、テーマが訪問看護であり、同じく訪問時に薬剤を扱う事がある薬剤師が関心をもってくれた事が要因ではないかと考える。

テーマ内容によって参加職種数の変動はあるが、総数の変動はなかった。

テーマ内容での参加人数の変化はないと考えられる。

研修の周知方法として、介護関係者は、各事業所へ案内配布されるが、医療関係者では病院へ配布し各病棟などへの配布をしている事が多い為、案内が目につれる機会が少ない事が考えられ、周知方法の検討をする必要があると考える。

### （参加の多かった職種の参加人数推移）



## 介護関係者向け動画研修 分析

今までの研修とR2年度の動画研修での参加数の分析を行った。H29年度研修参加総数119名、H30年度255名、H31年度（R元年度）333名、R2年度1,189名となっている。

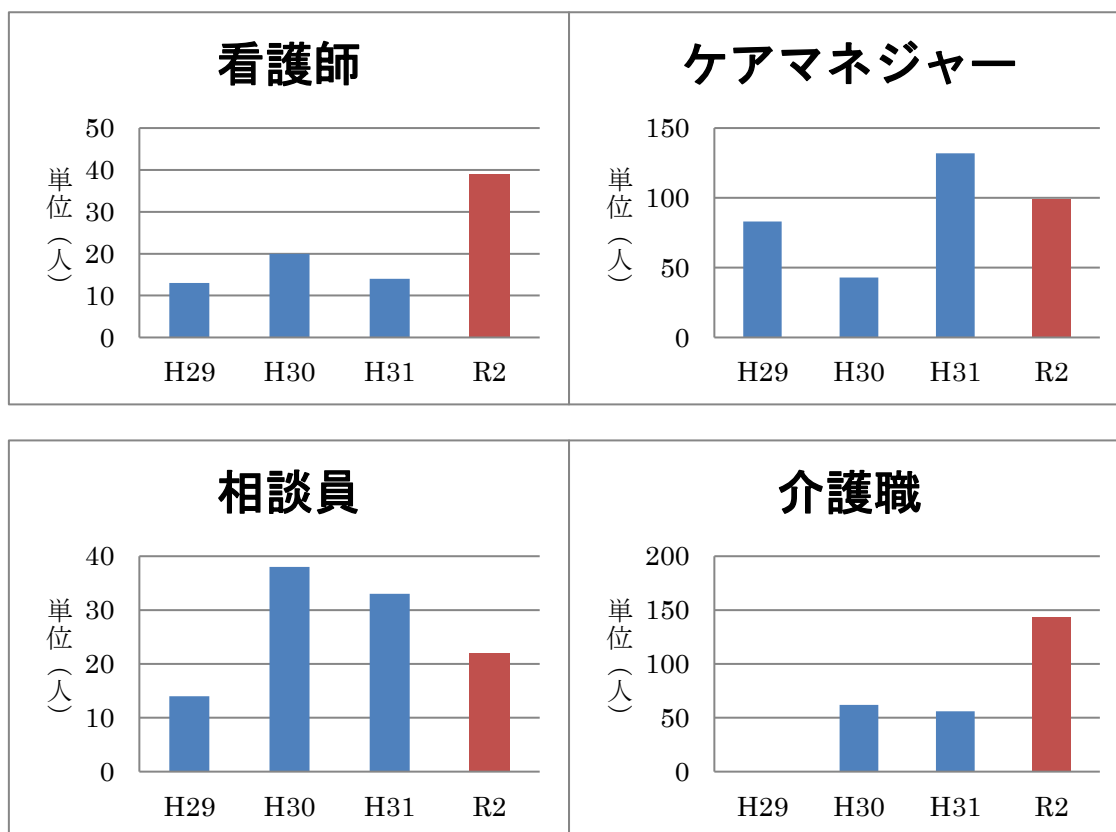
	H29	H30	H31(R1)	R2
参加数	119名	255名	333名	1,189名

動画研修の為、同一人物が数回閲覧する事も考えられるが、動画研修による参加人数の増加の効果はみられている。意見からもあるように、介護関係者の多彩な勤務状況や家庭の事情などから研修参加が従来難しかった人が、動画にする事で参加しやすかった事が要因ではないかと考える。

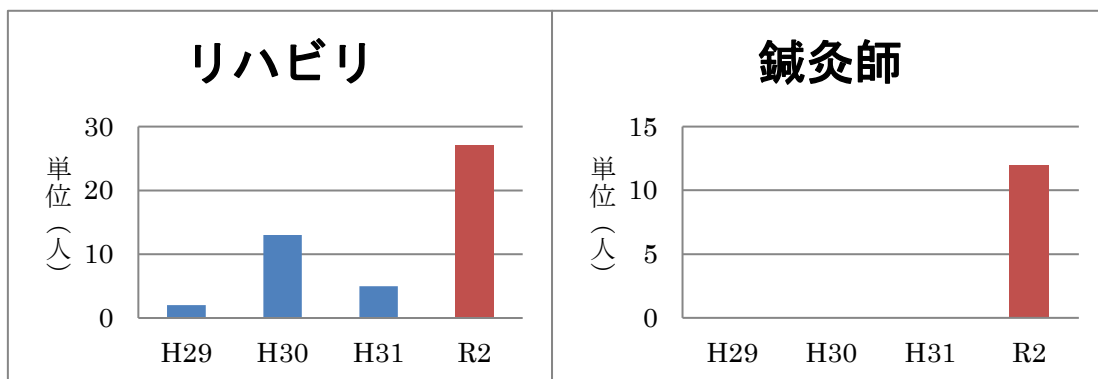
職種別でみると、介護職・看護師・リハビリの参加数の増加がみられた。新たな職種では、今まででは参加がなかった鍼灸師12名の参加があった。介護職の参加の増加が多く、動画というツールでの効果と考えられる。R2年度は、フレイルについてと医師への伝え方というテーマだった為、リハビリや鍼灸師、介護職の参加に繋がったのではないかと考える。

公開後に、介護関係者から施設内での研修に動画を使用したいとの希望もあり、関心を持って頂けたと感じた。

### (参加の多かった職種の参加人数推移)



(令和2年度に参加数が急増した職種および新たに参加のあった職種)



## 令和3年度の研修（要望まとめ）

### ■医療関係者向け

アンケートから、医療関係者は、患者様が在宅でどのようなサービスを受けて過ごしているのか、医療・介護連携がどのようになされてきたか事例を知りたいとの思いがみえてきた。各職種との連携の中から、患者様や家族の思いを知る事で、自職種のフィードバックができるのではないかと考えられる。

次年度の研修内容としては、患者等から各職種（ケアマネジャー、薬剤師など）に依頼がきてからの一連の流れについて、具体的な事例を挙げて研修して頂くのがよいのではないかと考える。

#### 【在宅医療について知りたい】

- ・実際に在宅へ移行すべき患者さんをどのように見極めていっているかについて教えて頂けるような内容が良いなと思います。

#### 【多職種の仕事内容が知りたい】

- ・多職種の仕事内容、仕事の範囲が具体的に理解できる機会になる
- ・多職種に期待する要望、今回は病棟看護師と訪問看護師の看看連携について触れておりましたが、そういった連携に関する要望というのは今後も教えて頂ければ参考になります
- ・ヘルパーや訪問看護師と会って話す機会がなかなかないのが現状。こういう機会はともありがたいです
- ・多職種がどのような介護連携を行っているかを知りたいです
- ・多職種と関わった事で改善された事例や助けになった事例紹介を希望します
- ・実際にあった医療・介護の現場での内容を知りたいです。
- ・今回のような内容（訪問看護）で、色々な職種での講演会を期待する
- ・多職種の具体的な仕事内容。医療保険、介護保険でできる各職種の仕事内容、仕事範囲についての研修を希望

#### 【薬剤師】

- ・多職種の方との連携など、在宅での薬剤の管理について
- ・在宅医療に力を入れている薬局薬剤師の在宅の経験談、役割などのご講演をききたい

#### 【訪問看護】

- ・訪問看護の実際行われている状況。

### 【ケアマネジャー】

- ケアマネジャーの患者への関わり方、一連の業務内容など。
- ケアマネジャーの方の業務や多職種への要望を教えてください。可能であれば居宅療養の管理が可能な施設とそうではない施設の区別が非常にわかりにくいので（例えばショートステイは NG だけど GH は OK）そのあたりの区別も教えてください。近年施設の名前が多岐に渡り、施設名だけでは判断できなくなっている。

### 【医療保険・介護保険の振り分け】

- 医療保険と介護保険の使い分けをどのようにしたらよいのか、個人の状況によって変わりますが、おおまかにでもよいので教えてください。

### 【患者・家族の言葉がきける事】

- 患者・家族の言葉が聞けて良かった。関わっている看護師などのやる気につながる

## ■介護関係者向け

アンケートから、介護関係者は、高齢者の生活を支える為に介護を行っている対応の中で、疾患についてどのように関わるかについて学びたい思いがみえてきた。疾患についての理解や、持病の悪化や他の疾患の発症時などでどのように医師と関わりとよいのかなどの研修が必要と考えられる。また、令和2年度の研修のように、医療者側の思いもわかるとよりよいのではないかとと思われる。医療について学ぶ事で、医療の対する苦手意識がなくなり又、なぜ、このような症状がでるのかをアセスメントできる力がつく事普段と違うと気づく力になると考える。

### 【医療・介護連携について】

- 病院の相談室の動きが分かる研修を受けたい。
- 包括ケアシステム、障害者支援、多職種連携等 訪問看護とのやり取りなど。
- 障害福祉との連携について
- 医師との連携や、訪問診療対応状況の情報について

### 【医師からの講義がいい】

- 医師の立場から介護関係者に向けて伝えたい事をなかなか聞く機会がなかったので今後も続けてほしいと思いました。
- 主治医とのかかわり方についての研修が今後もあれば助かる。
- 救急搬送と受診、様子観察指示受けて、よりよい指示受けをしてもらう方法。
- 介護関係の業務だと、医療の事は見えない部分も多い為、やはり医師又は医療関係者

から発信する研修を増やしてほしいです。

### 【医療に関する情報希望】

- 医療と介護の連携について、医療の方の思いや現実的な状況
- 介護職は疾患や医療用語、医療での常識みたいなものを理解してない事があり、勉強したい。
- 介護職員向けの医療知識。
- 在宅医療の導入や介入について。
- 服薬の支援について。
- 褥瘡のある方への介入方法など
- ケアを行うためのポイントや医療材料が少ない在宅や施設における処置方法。
- 感染対策等関連で、ガウンテクニックや吐物処理等
- 精神疾患の利用者との関わり方など 幻聴や幻覚があるかたのかかわり方（本人の訴えに対するの対応）
- 認知症について、拘縮の予防・対策、感染症予防・対策、排尿と排便関係について 認知症在宅編。
- 利用者様の些細な変化にも気づける様、医療の知識も身につけられる内容を希望。
- 高齢者の多い病気に合わせた対応（どの目線で、どう話すか等）
- 夜間に特変時の介護現場での対応
- 高齢者向けのリハビリのやり方、高齢者に多い病気の内容の研修会など
- 終末期ケア・看取りケア（がん患者、呼吸器疾患、肺炎、老衰等個別の事例）、看取りに関する法的基準。
- 食事はどう調理したら良いか（心臓病や糖尿病等）、栄養指導や献立について

### 【介護の用語など】

- 在宅介護に関する研修会。
- 日々繰り返している介護の中で、ふと見逃している所がないか再確認ができる機会だと思う。介護医療連携を施設形態に応じて違いがある事の説明をしてほしい。
- 介護用品や補助用具の種類や便利な活用方法など知れたらと思う。
- フレイル、サルコペニアのような介護の場にも関わる言葉を教えて欲しい（カタカナの用語が会話の中に出てきても理解できない所があるので）

### 【接遇など】

- 接遇マナーの研修会を行って頂きたいです。電話でのマナー等、いつ何時でも必要なマナーがあると思います。
- サービスの対応マニュアルなど。